

2001 11/7
479

dacapo

特別定価 350 YEN

ダカポ

2001年11月7日号(第1・第3水曜日発行) / 第21巻 第20号 昭和56年12月23日第三種郵便物認可



マスメデイア 信用度

使えるホ^テル
ランキン^グ

分か^らないちが
女の気持



「現代」が3時間でわかる情報誌

電子投稿「雑誌」か、ただの「壁」か？ネット巨大掲示板とはどんなメディアか

ヒヒヒヒヒ — 佐賀バスジャッケ事件の容疑者の少年が「ネオ麦茶」という名でそう書き込んだと話題になつたのは昨年の5月。一般的にも認知され始めた日本最大級のネット匿名掲示板サイト「2ちゃんねる」(以下・2ch)は、「便所の落書き」と評されながらも今では月に約250万人が訪れる巨大サイトだ(日本のインターネット

ト人口は約3000万人)。ではこの2ch、どんなメディアだといえるのか。サイト管理に携わる一人、井上俊幸さんは言う。

意志なきメディア 「2ちゃんねる」

「要は駅の掲示板と同じ。便所でもただの壁でも、そこに情報があるって見るヤツがいればメディアに

やんねる。約350のカテゴリーに分かれ、ありとあるジャンルを網羅する、日本最大の掲示板サイト

書き込みに關する簡単なルールは
明記されてはいるものの、中傷的な發言もある。結局このメディア
は何を伝えようとしているのだろう。
「メディア」と「マスコミ」
を想像しがち。でも、もともと壁
に情報を勝手に書き込む人がいて、それを読む人がいるという関
係こそがメディアの原点だと思う。

なるんです」
「ハッキング」から「今晩のおかず」までを手広くカバーする巨大掲示板群……言い得て妙なる2ch上のうたい文句だ。しかし、それについても政治経済や学問からアダルトに至る約350のカテゴリリーに分かれ、無数の匿名ユーザーが真剣な議論や意見疇、ただのやじ、と好き勝手に発言。示される膨大

んです。だから、2chそのものには何かを「伝える」という意志はありません



情報の発言もその内容の吟味



西和彦

1956年生まれ。アスキー・特別顧問。
博士（情報学）

も、そして書き込みのルールや慣習などまですべてがユーザーにゆだねられるのであれば、2chはいわば「神の手」に操作される「意志なきメディア」といえよう。それゆえの「言いたい放題」な雰囲気がイメージを悪くしているのも事実だが、多くのユーザーが心引かれる理由もまたそこにあるのだろう。

ネット巨大掲示板の可能性

井上さんが2chを「原始的なメディアへの回帰」だとする一方で、アスキーペople特別顧問の西和彦さんは既存のメディアの枠組みを例あげてネット掲示板の本質について話す。

「例えば、メールマガジンを定期購読している『新聞』だとすると、インターネットサイトつていうのは『雑誌』と同じ。BBSはいわてるけど、それは違う。新聞にし・かずひこ

巨大掲示板の可能性について語る。「今は『掲示板』がインターネットのコミュニケーションで使えるものとして認知されるかどうかの瀬戸際なんだ。2chのように『噂』や『おり』が飛び交うモノだけがネット掲示板のイメージになっ

たものではないか。その考え方もある。掲示板サイト最大手の「2ちゃんねる」に対抗(?)し、新たなインターネット掲示板サイトが試験運用に入っている。その

も、そして書き込みのルールや慣習などまですべてがユーザーにゆだねられるのであれば、2chは

ば電子投稿雑誌だね」

並んでいる情報の中から何を選び取るのか自分で決めるという

点で、インターネットサイトと

「雑誌」とは共通点が多い。大ざ

っぱにメルマガを「新聞」、ウェ

ブサイトを「雑誌」としてみると、

確かに既存のマスマediaの枠組みのなかからネット掲示板の姿が

おぼろげに浮かびあがってくる。

「雑誌の『誌』という字は言葉に

意と書くよね。だからその内容が

偏りっていても構わない。それは

2chにしても同じで偏りしても

別にいいんだ。だけど、あれはク

レージー電子雑誌だな(笑)」

自ら2chに登場し、良くも悪

くも話題になつた経験のある西さ

んは、そう言い添えてからネット

巨大掲示板の可能性について語る。

「今は『掲示板』がインターネットのコミュニケーションで使えるものとして認知されるかどうかの瀬戸

際なんだ。2chのように『噂』

や『おり』が飛び交うモノだけ

がネット掲示板のイメージになつてゐるけど、それは違う。新聞にし

たものではないか。その考え方もある。掲示板サイト最大手の「2ちゃんねる」に対抗(?)し、新たなインターネット掲示板サイトが試験運用に入っている。その

うに、巨大掲示板もいかがわしいモニからまじめなものまでいくつかの種類に分かれていかなきや」

「匿名掲示板では他のメディアの報道やある企業の商品、対応など

について、良い面も悪い面も自由に意見や経験を発せられる。とな

ると、今後、2ch的なメディア

が他のメディアや企業を監視す

る、オンラインマン的な役割を担う

ことでも予想されますね」

イメージしやすい。ゴシップ誌、

論誌……有料、無料……さまざ

まな色分けがなされていくことに

よって、「インターネット巨大掲示板

ついにできてきた

1 アクセス5円の有料
掲示板発進

名も「1ch_tv」。本文に登場している西和彦さんも協力者の一人だ。この掲示板サイトは従来の無料配信に加え、自分の発した情報に価値があると思えば、本人が書き込みに1アクセス5円程度の課金を設定することが可能なシステムになるそうだ。名称も「ウェブ・マガジン」と雑誌を意識して、これまでの2ch的な掲示板イメージからの脱却を図っている。成功するかどうかは本格運用まで分から

ないが、ネット掲示板の可能性の一つを示すことにはなるかも。

示板」の位置付けも次第に決まっていくのだろう。例えば、井上さんはこんなことを話した。

「匿名掲示板では他のメディアの報道やある企業の商品、対応などについて、良い面も悪い面も自由に意見や経験を発せられる。となると、今後、2ch的なメディアが他のメディアや企業を監視する、オンラインマン的な役割を担うことも予想されますね」

イメージとしてどう認知され、

メディアとしてどこへ着地するのか。答えは少し

どこへ着地するのか。答えは少し

どこへ着地するのか。答えは少し